

令和3年度 ホソカワ粉体工学振興財団 KONA 賞ならびに研究助成事業のご案内

公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

当財団は、粉体工学・技術の発展に資することを旨として、平成3年(1991年)に創設され、平成24年に公益法人に認定されました財団法人で、毎年、粉体工学に関する講演討論会の開催や、英文学術誌 KONA Powder and Particle Journal の出版などの事業を進めると共に、大学等の研究機関に所属されている方々を対象として主に下記のような助成事業を行っております。

1. 粉体工学に関する優れた研究業績に対する褒賞 (KONA 賞)
2. 粉体工学に関する研究のための研究費助成
3. 粉体工学に関する研究者育成のための援助
4. 粉体工学に関する学会・シンポジウム等開催の援助

これらの助成事業は、例年5月から募集を開始し、7月下旬に締め切られ、選考委員会での審査、理事

会での承認を得て、12月に採択結果が発表されます。ご応募には、所定の推薦書あるいは申請書の提出が必要です。

助成対象や申請方法、提出締切日等の募集要項の詳細につきましては、2021年4月頃に当財団のホームページ等で公開の予定です。申請書等の必要書類は、財団ホームページ内の下記の助成事業サイト (<http://www.kona.or.jp/jp/grants/index.html>) からダウンロードいただくか、または下記にご連絡下さい。

<推薦書・申請書の提出先および連絡先>

(公財)ホソカワ粉体工学振興財団 事務局
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 1-9
TEL: 072-867-1686, FAX: 072-867-1658
E-mail: contact_zajosei@hmc.hosokawa.com
URL: <http://www.kona.or.jp>

編集後記

Editorial Note

今年は何と言っても新型コロナウイルス (COVID-19) 感染問題で世界が震撼しました。2019年に発生したこのウイルスは、今年になって日本を含めて世界中に広まり、まだ終息の見通しが明らかになっていません。

以前にもペストやコレラ、スペイン風邪、最近ではSARSやMERSウイルスなど数多くの様々な感染症が発生し多くの被害者が出ましたが、人類はこれらに打ち勝ってこれまで発展してきたものの、この新型コロナウイルス程身近な、直接生活に影響を及ぼしたものは今まで経験したことがありませんでした。

それにしてもこのコロナ禍の影響は大きく、三密を避けて社会的、経済的な活動が大幅に抑制され、多く国々が鎖国状態となり、近年急速に増加していた海外から日本への観光客数もまさに激減しました。これらの結果、多数の会社や店舗が休業や廃業に追い込まれ、また小学校から大学まで多くの学校も長期間休校となり、楽しみにされていた東京オリンピック2020も1年間の延期が決まりました。

このような状況の中で、これまでの会社出勤や出張、様々な集会等に代わって、インターネットを使ったテレワークや

オンライン会議・授業・講演会等々が急速に取り入れられ、社会のシステムや働き方にも急激な変化をもたらしています。

一方、大谷先生の巻頭言にもありますように、このウイルスはエアロゾルの形で飛沫感染するため、室内の換気やマスクの着用が重要な感染対策として認識され、昨今巷ではマスク姿が常識となってきました。このエアロゾルの飛散や捕集なども粉体工学の古くからのテーマとなっており、様々な形で感染対策に応用されているものと思われます。

この粉砕誌についても、2020年9月に開催予定していた第54回粉体工学に関する講演討論会が延期となったため、掲載予定していました本会の講演資料の記事がなくなりました。そこで、2019年に開催の第26回ホソカワ粉体工学シンポジウムからの特集と共に、本講演討論会に予定されていた海外からの講演分のみ、その原稿を和訳し、追加の特集、テクニカルノートと共に本誌に掲載することになりました。

本誌につきまして、ご意見、ご要望等がございましたら、何なりと事務局までご連絡頂けましたら幸いです。よろしくお願い致します。